

京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2202回★★ 弥栄町の最高点 ヨシナミ岳	2月5日(金)	三橋 勉 581-3562(自宅)	9号線-173号線-綾部- 綾部IC-宮津道路-178号 線-宮津-岩滝-53号線- 57号線-霞…ヨシナミ岳
備考 マイカーで行きますので希望者は担当まで。集合場所と時間は参加者で相談します。			
第2203回★★ 比良 武奈ヶ岳	2月11日(祝) 比良駅 8:40集合 (京都駅発JR 7:57発) (山科駅発JR 8:03発)	山元 誠一 (内583)	比良駅 ^{バス} イン谷口…金ク ソ峠…中峠…武奈ヶ岳…八 雲ヶ原…イン谷口 ^{バス} 比良 駅
1. 冬山日帰装備必携(アイゼンほか) 2. 参加希望者は事前に担当者まで連絡下さい。			
第2204回★★★ スキー登山 奥美濃 野伏ヶ岳 (△1,674.3m)	2月27日(土) ~28日(日) 壬生27日7:00集合	井戸 澄夫 (内810) (822-9181)	27日 京都(名神・東海北 陸自動車道)-白鳥IC -ウイングヒルススキー 場(スキーを楽しむ)- 石徹白(民宿) 28日 石徹白…和田山牧場… 野伏ヶ岳…石徹白-帰 路
1. 参加者は事前に担当者に連絡して下さい。 2. 民宿泊りの予定です。山スキーの用意をして下さい。			
今月の集会 日時 2月10日(水) 18:30 場所 厚生会館 4F 大教室		企画運営委員会 日時 2月22日(月) 18:30 場所 厚生会館 4F 大教室	



今年の正月はきれいに晴れ上がり、穏やかな年の初めであった。1日には地元の氏神さんに初詣でした。2日は老母を連れて父と次兄の墓参をした。3日は女房と田辺の甘南備山に登った。甘南備山は標高217mと低いですが、歴史的には神の住む山として崇拝された山である。毎年1月3日の朝に地元の方達が大学して登るとのことであるが、私達は夕方であったので西日を受けて、静けさの中、木津川に沿って広がる平野と背後の山々の観察を楽しんだ。

10日(日)は恒例の山岳部の初登山であり、梶尾の峰山(△537.6m)に登った。今年の干支はウサギであるが、近くに兔のつく山がないので、近郊の登りやすい山に登ろうということになったのだが、平成5年の京都国体で交通局山岳部がコース整備に参画した思い出深い山である。登りは京交らしく道なき斜面を登り、山頂ではビールで乾杯しゼンザイで体を暖めた。

11日はこれも恒例になった松尾の網船「小島」で新年会である。今年は初代部長の近藤氏と2代目部長の山村氏が体に大事をとって欠席され、まことに残念ではあったが、伊藤氏や坂井氏・河村氏など大先輩が顔を出してくださった。近藤氏は今年の3月に88歳の米寿を迎えられる。今年は山岳部にとって50周年の記念すべき年であるが、山岳部の歴史は近藤氏の歴史でもある。我々はこの50年の重みをかみしめ、諸先輩の築き上げた伝統を次世代につなげていくのが努めであると思うが、はたして思うとおりになるか。

まことに平穏無事の新年ではあったが、4日、初出勤の市長訓辞と管理者の訓辞で、京都市と交通局をとりまく情勢の厳しさを痛感し、公務員としての規律を厳守し、市民サービスを徹底することをあらためて確認する新年でもあった。

(H. 11. 1. 17. 記. S.H.)

【第2197回例会】

愛宕山と柚子風呂

梅津 吉田 武

表参道に10:00、参加者10名が顔をみせる。歩きなれた歩調で各自が登っていく。

今回は新婚の山岡さん夫婦もゆっくりと落葉を踏みながら、又、タイムレースをするように早く登る人、各ポイントで休憩する人、歩きなれたコースを個々に愛宕神社の社務所のたき火に集合する。

12時半に社務所を後にして水尾に下る。何度歩いても急下降の道で所々滑りそうな感じがする。1時間程で今日お世話になる丸源さんに入る。

ほのかに柚子の香りがあるので早速風呂に入り、汗を流して水炊きを囲んで今年の忘年会とする。

【参加者】 荒田, 津田, 岡本^勇, 森本, 山下, 吉田, 山岡, 他3名

【第2198回例会】

平成10年納山祭

馬淵 拓巳

今年の納山祭は一昨年と同じ、滋賀県の志賀町営比良元気村キャンプ場で行った。このキャンプ場は、比良山麓の静かな森の中にあり、眼下には琵琶湖も見渡せる穴場だ。

納山祭でのメニューは、吉田さんの手打ちそばと岡本さんの寒ブリを使った料理。どちらも我が京交山岳部が誇る名料理人である。そばができあがると参加者みんなであっというまにおなかの中にほうり込む。寒ブリの方はというと、一匹まるごとをさばき、さしみと鍋をつくっていた。さしみはそばと同様、テーブルに並ぶとすぐになくなった。

そして、井戸部長の乾杯の発声のあと、たき火を囲みブリ鍋をつつきながらの酒宴。みんなで歌ったり、最近の山行の話をしたり、あーだこーだと楽しい夜の時間をすごした。

翌朝は、手打ちうどん、雑炊、おにぎりなどをいただいた。みんなで装備を片付け、清掃して

解散した。

吉田さん、岡本さん、田村さんお疲れさまでした。

【参加者】 井戸、坂井、渡辺、岡田、吉田、岡本、田村、森本、方山、大倉F1、
三橋、清水、松浦F1、馬淵

【第2199回例会】

初登山 峰 山 (△537.6 m)

堀 田 剛

平成11年1月10日の日曜日、朝9:00に市バス高雄バス停に全参加者19名+1頭（大槻さんのワンチャン）が集合した。

新年初めて顔を合わす方々は年始のご挨拶。「おめでとうございます。」

天気は時折小雪が舞う薄曇りであり、吹く風が冷たい。

大変であったのは大倉さんで、車の軽油が凍ってしまいタクシーで来られた。

9:20に西明寺を出発。歩きだすとさすがに暖かくなり上着を脱ぐ方が多くなってきた。道に沿う小川でワンチャンが水浴びをして喜んでた。所々昨年の台風の影響か倒木があり放置されたままである。あまり人が歩かない道ようだ。

そのうち、尾根に出たいのだが、道がはっきりしなくなる。結局小川に沿って進み、ある所から道が無ければ作ってしまえという感じで、斜面の木々の間を縫っていく。前の人の歩いた跡は表面の土がけずれて滑るので、自分で良さそうな所を探す。

10:40ぐらいに尾根にでる。尾根づたいはちゃんとした道であった。そこで小休止。

11:05峰山山頂に到着。てきぱきと山頂でのぜんざいの準備のかたわら、まずビールで乾杯。さすがにうっすら雪が積もり、寒さもひとしおで、酒が少々好きな私も、ビールは1カンでいいかなと思った。ぜんざいのもちが柔らかくなるまでの間、ラーメンや日本酒の潤など体の温まる食べ物（飲み物？）を作っていただき食べさせていただいたのには感謝。やはり冬は潤であると再認識し、温める装備は必要だと感じた。

この後、別の装備の必要性を感じる出来事があるのだが。

12時過ぎに宴が終わった。腹いっぱい、酔いも適度でいい気分であった。

5名の方（鷺見さん夫妻、岡田さん、方山さん）は朝日峰へと向かわれ、残りの方々は高山寺へと下山。

登りと異なり整備された道で、温泉気分であった。

そんな時、前を歩く坂井さんの足がつったとのこと。有志参加の平木さんが付いてくださると

いう安心感と、大登山家の坂井さんだからと高を括ってさっさと下山してしまった。ところが、待てどくらせどお二人は下山してこない。「なんぼなんでも時間が経ち過ぎやないか。」との心配が起こる。

大槻さんの一言に來た道を登り始める。小川を渡る丸木橋の所で平木さんに出合い、坂井さんが両足共つって自力で歩けないとのこと。私は坂井さんに付くことにして、早く登らねばと気はあせるが身の重さはいかんと。とその時坂井さんが歩いて下りてこられた。良かったと思うと共に、なぜ先に下山したかと自責の念にかられた。

好事魔多しとは他人にあるのではなく、自分の気持ちにあるのではと。

坂井さんの得意の歌声の中、後から登って來た全員とほのぼのとした気持ちで14:00に無事全員下山。そこで、負傷した人の背負い方にわか講習会となる。大倉さんがザイルを使って固定した背負い方を、大槻さんはザイルの無い時、片腕で相手の腕をつかみ、安定をとるため片腕をフリーにする背負い方を。ザイルの用途の広さを知ると共に、しぼり方など全く知らないではないと知る。別の機会に教えていただきたいと思った。

また、足がつった時用にと、坂井さんがチューブを持っておられ足を縛られた事を知り、山の装備は奥深いと知った気がした。

何かしら得るものの多い初登山でした。

【参加者】 坂井久光、森本清一、鷲見敏一、鷲見壽未子、岡田茂久、和田良一、大槻雅弘F1、大倉寛治郎F1、井戸澄夫、方山宗子、竹田 勉、上村次男、馬淵拓巳、清水康弘、松浦健一、堀田 剛、他1名(計19名)

【個人山行】

21,081Mを登る

大槻 雅 弘

1997年12月20日 杳掛山△415. 1998年1月3日 大文字山△466. 1月17日唐櫃越(等)330. 2月22日 瓢箪崩山△532. 3月8日 釈迦ヶ岳△631～ボンボン山△679. 3月15日 横岳ロープウェイ山頂上部(等)2,260. 3月28日 瓜生山(標)301. 4月11日 愛宕山(標)924. 4月26日 鎌ヶ岳(標)1,161. 5月9日 天ヶ峰△632. 5月23日 愛宕山(等)700. 6月2日 金毘羅山△573. 6月6日 愛宕山(等)700. 6月14日 天王山(等)270. 7月19日 権現山△601. 8月8日 忠田(点名)△573. 8月14日 石川村(点名)△515. 8月29日 三ノ峰(標)2,086～二ノ峰△1,962. 9月12日 空山△550. 10月4日 白尾山△749. 10月11日 夫婦岳△598. 10月25日 三峰山△1,235. 11月7日 権現山△527(府下182座完

登の山) . 11月14日 金毘羅山△573. 11月22日 峯山△538. (注△三角点(標)標高点(等)等高線)

1997年9月24日, 肺ガン手術後10月に退院して, 職場復帰したのが11月。その翌月からボチボチ山を登り出してちょうど1年。1998年11月までに25回, 月2回のペースで登ったことになる。その山が, 上記したもので標高をたし算すると, 21,081mになった。

汗をかいた山。ほとんど車で, 歩くことが少しだけだった山。背丈を越す, すごいヤブ山。マイナス6℃だった横岳のロープウェイ駅。余りに風が強く, ポケットの地図が吹き飛ばされ, 親子3人でストックにしがみついていたこと。丹後半島の先きっぽの権現山, 太陽の照りつける中, 1時間三角点を捜したこと。そして, ひとつのこだわりであった京都府下500m以上の三角点182座を, 1998年11月7日, 大江山の近くの権現山で完登出来た。手術後カムバックした一つの大きな足跡になった。体力も少しづつ戻って来た。

しばらく, この部報にも御無沙汰していたが, ここにまとめて一年分の報告をし, 権現山例会に山頂で乾杯してもらった山仲間と, 併せて入院の折お心遣いいただいた部員の方にお礼申し上げます。ありがとうございました。

1999. 1. 3.

例 会 報 告

例会 No.	目的地	月 日	天候	担当者	参加者	備 考
2197	愛宕山と 柚子風呂	12月6日		吉田 武	荒田, 津田, 岡本(勇), 森本, 山下, 山岡, 他3名	(別稿詳報)
2198	納山祭 比良元気村	12月19日 ~20日		吉田 武 馬淵 拓巳 田村 正弘 岡本 義弘	井戸, 坂井, 渡辺, 岡田, 森本, 方山, 大倉F1, 三橋, 清水, 松浦F1	(別稿詳報)
2199	初登山 樽ノ尾 峰山	1月10日		大倉寛治郎 井戸 澄夫	坂井, 森本, 鷺見(敏), 鷺見(壽), 岡田, 和田, 大槻F1, 大倉F1, 方山, 竹田, 上村, 馬淵, 清水, 松浦, 堀田, 他1名	(別稿詳報)

部 員 動 静

目的地	月 日	天候	参加者	記 事
21,081Mを登る			大槻 雅弘	(別稿詳報)
飯盛山Ⅲ 1,074m (妻籠)	12月13日		伊藤 潤治	6月と12月と一年二度の山行がお定め「ごじまん会」に参加。しかし当初は所要図を見ただけで尻込みしました。ところが幹事長より、「小路峠まで車行するので」高差約400mの上、尾根には自然歩道がついているとの説明をいただいて出掛けました。 好天で、真白になっている中央アルプスの名峰群を、指呼できる大展望を恵まれました。けれど案じたとおりに急峻でした。そのため登りも下りも、名誉あるしんがりを務めて参りましたが、付近には温泉もあり、この飯盛山は隠れた名山の一つであると感動いたしました。
カマクラ山	12月23日	晴れ	伊藤、河村、三橋他4名	加西ICから北へ7キロ、鎌倉谷ダムに駐車し、そこから峠に出ると、送電線の巡視路を西に尾根道を行くと、北の方に笠形山や生野の山々がよく見えた。15分行くと南の尾根に進む。途中ピークを越えて登り直すと三等三角点452.3mに到着。頂上でスキヤキをする。下山は、東尾根をダムめがけておりた。
雲取山	1月5日		吉田 武	花背小学校の横に車を置いて寺山峠に歩き出す。スキー場は一面まっ白で幼児の雪遊び程度なら十分出来たと思った。 全コーストレートがついていたので歩きやすかったが、木に積もった雪が予告なしに落下するのでずぶぬれになった。雲取峠では50cm、頂上で60cm位積雪があった。
釈迦岳 ボンボン山	1月11日		吉田 武	善峰寺に車を置いて釈迦岳からボンボン山に登る。10時半に善峰寺を出発して釈迦岳に11時半に着く。そこから稜線と吊尾根を歩いてボンボン山に12時に着く。コースには所々雪があったが快適であった。

平成11年新年会（兼1月集会）

日 時 平成11年1月11日（月） 18：30～

場 所 松尾橋西詰下ル 網船「小島」

出席者 伊藤潤治, 坂井久光, 河村 清, 森本清一, 鷺見敏一,
三橋 勉, 岡田茂久, 和田良一, 大槻雅弘, 大倉寛治郎,
吉田 武, 方山宗子, 井戸澄夫, 竹田 勉, 山元誠一,
堀田 剛, 清水康弘, 松浦健一, (18名)

（今年の抱負）

竹 田 初登山（峰山）はハードだった。この一年間、期待とともに不安もある。正月は毎年七福神めぐりをし、家の安泰を祈っている。今年は山岳部の50周年を七福神の色紙に加筆したものを寄付させてもらおう。

大 倉 今年の初登山は、昭和62年の国体時に歩いたコースです。去年は母が死に、息子が結婚し、孫が2人できた。今年は交通局と山岳部の厳しさを身にしみて感じ、職場にフィードバックしたい。50周年の海外登山は成功させたい。

伊 藤 ぶさたしています。西暦2000年までに2,000山登ろうと頑張っていたが、途中大きなショック（妻の死去）があり中断していたが、1,900台までできた。今年は今西先生の足跡をたどり、盛岡20万分の1で20山、広島20万分の1で10山、近郊の200mクラスの山をあわせてなんとか2,000山にしたい。

松 浦 山岳部に入り1年半になりました。去年は結婚しプレッシャーがかかっているが、今年は50周年でもあり、家庭と山とを両立して山岳部に貢献したい。まだ山登りをスタートしたばかりだが、コツコツと登っていききたい。

清水(康) 去年の新年会で、やせるといったが太ってしまった。今、95kgある。初めての海外登山（キンナバル）に向けて、宇治川マラソンできたえ、富士山で低い気圧に耐えたい。またお金もためたい。

堀 田 今年体重をリストラし、山登りの早さについていきたい。正月のTVで山のよさを再認識した。

方 山 去年はアクシデントがあり山登りは一服していました。そのせいで体重が5kgふえました。今年は減量したいと思っています。また自分なりに味のある山行をしたいです。50周年で初めての海外登山が楽しみです。

- 和田 新年会は久しぶりに顔出しした。ここ3年半ほどは死んでいたが、少し精神的に余裕がでてきた。今年こそは気持ちを変えて、体をきたえるつもりだ。どこの山でも結構ですので誘ってください。
- 三橋 OBになって気楽になり、一昨年は36山、昨年は26山登った。今は勤務の都合で平日登山が多い。OB仲間で1月2日に愛宕山に登り、9日に豊川の大山(一等△)に登ったが、帰り大雪にあい遅くなって、10日の初登山にいけなかった。50周年記念登山のキンナバルにはなんとか都合をつけて行きたい。
- 岡田 昨年は人生の節目(定年退職)で、現役からOBになった。新しい仕事に力をいれたので、山行が少なくなった。今年はまだ一度自分の山行を見つめなおしたい。特に山行は楽しくあるべきと思う。丁度、仕事も自然エネルギーの開拓といった自分に合った仕事で、第二の人生を仕事と山で楽しんでいきたい。
- 鷺見 去年は1ヶ月に2回くらいの個人山行で、20山くらい登った。特に北海道の利尻、羊蹄、アンヌプリがよかった。今年5月の連休に屋久島の宮ノ浦岳に行きたい。又、キンナバルもいきたい。
- 大槻 今年50周年である。京交のよさは職域山岳会としてOBも巻きこみ、他の山岳会の人にも拒まないところである。50周年記念誌の編集は着々と進んでいる。一昨年にガンの宣告を受けたとき、これで山登りができなくなるのではないかと心配したが、去年は24回登るまで回復した。自分でも少しがむしゃらさがとれたと思う。労務係長のときは毎年50山以上登った。又、去年は府下の182座を完登できた。これからもコンスタントに登っていきたい。
- 吉田 100名山に挑戦しているが、年間5山くらいしか登れない。あと20山であり、定年までに達成するのが目標である。仕事の関係で、土日に登りにくい。新年になって、4日に雲取山、11日に釈迦岳・ボンボン山に登った。23歳に入部して30年ほど、トータルで800山くらい登った。50周年は国内の木曾駒集中登山を担当する。又、若い人を対象に岩登りの研修もやりたい。
- 河村 年ばかりいって皆さんについていく体力がなくなってきた。土日が仕事なのでOBの伊藤氏、三橋氏と山に行っている。これからもできるかぎり頑張って登りたい。
- 山元 今年50周年記念誌の完成が一番の目標です。皆さんの協力をお願いします。1月中旬に原稿を頼みます。個人的には昨年10月のTVで、脇坂順一氏が80歳を超えてヨーロッパアルプスを登ったことに感銘した。仕事以外の趣味として、いつまでも山への意欲を持ち続けたい。

- 森 本 今年で67歳になるが、まだまだ山に登りたい。1月1日には比叡山に登ったが、御来光は見られなかったが充実感を味わった。10日の初登山（峰山）も楽しかった。これからもよろしく。
- 坂 井 だんだんと衰えていく。山に行ける間は行きますので、よろしくおつき合い願います。
- 井 戸 私も部長になってもうすぐ2期4年になります。部長をしてOBの方の山と山岳部にかける思いをひしひしと感じます。何とかその思いに応えたいのですが、力が及びません。そろそろ後進に道をゆずりたい気になっております。昨年は例会に18回参加しました。今年は50周年ということで色々な行事を予定しております。記念誌の発行、記念集会、海外登山、国内集中登山など、3月の総会で明確にしていきたいと思えます。

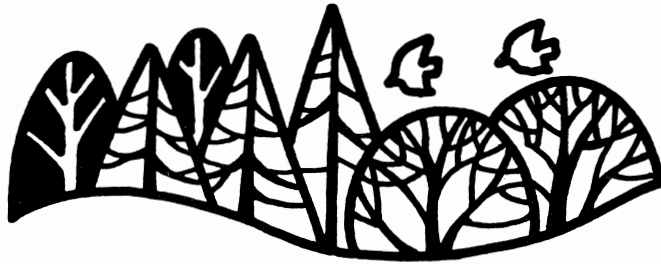
雑 報

△△△ 1月の企画運営委員会

日 時 12月18日（金）18：30～
場 所 厚生会館 4F 大教室
出席者 井戸、吉田、三橋、山元、馬淵
内 容 2月例会、岳連報告ほか
総会日程について

△△△ 他山岳会の会報（受贈分）

1 月 号 近畿山行、趣味の登山、北山、わっば



家庭用品 } 総合卸商社
衛生用品 }

日華商事株式会社

本店 京都市南区上鳥羽大物町13番地
☎ 601-8121 電話 (075) 672-6101(代)
FAX (075) 661-7332

八坂運送有限公司

京都市伏見区醍醐新町裏町24番地の4
TEL (075) 571-1108

帆布・濾布
テント・シート
雨合羽

木村工業有限公司

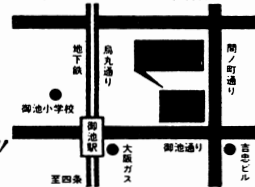
京都市中京区ミブ車庫前
TEL 801-5331 (代)

西大路営業所
下京区西大路七条下ル
TEL 321-0251

登山とアウトドア専門店

今、アウトドア派大集合!!

- 登山用品はもちろん、
注目のスポーツ
カーブをはじめ、
ひと味違う充実の
品揃えは必見のもの!!



株式会社 **ロッジ**
LODGE

営業時間 AM10:00~PM9:00 <年中無休>
京都市中京区御池通高倉西入(千代田生命京都御池ビル2F)
TEL. 075 (222) 0363 FAX. 075 (223) 5256

京都で唯一の山の専門店

Now Outdoor sports
 ハイキング&キャンプ・クライミング
 アウトドアウェア・US製用品
 ポーイスカウト用品

mountain

〒604-0931 京都市中京区二条通河原町西入
 TEL 075(258)-0548
 営業時間 AM10:00 - PM8:00 毎週火曜定休
 (株) スポーツ コニシ

葦あしの髓すいから天井を覗のぞく：④②

私事で恐縮だが一月二日に愚妻を亡くした。その後が大変である。家事一切は言うに及ばず対外的なおつき合いが全て小生にかぶさって来て暫くは何から手をつけてよいのか、呆然自失の態である。山男のみなさん、山行きもほどほどにして精々奥様孝行にも気を遣ってあげてほしい。家には「火の氣」と「女氣」が無いほど淋しいものはないと実感した正月であった。

制作 (株)北斗プリント社
 ○七五七九一六二二五
 (文責 波多野)



建設省国土地理院発行地図販売特約代理店
 国土地理院空中写真(カラー・白黒)取次
 通産省地質調査所発行各種地質図取扱店
 各種地図製作並びに印刷
 地形図は、5万・2万5千とも全国を常備しております。

株式会社 小林地図専門店

〒600-8174 京都市下京区烏丸通上珠数屋町東入(3軒目北側)
 ☎(075) 351-6598(代)

地下鉄：五条駅 5番出口・市バス：烏丸六条下車

結婚引出物・内祝・開店記念品・粗品
 仏事用お返し品・お中元・お歳暮用品

贈答品総合センター

厚生会指定

サンコークラフト

西島輝雄

左・川端丸太町下る下堤町88
 TEL (075) 771-3442

平成11年2月1日

京都市中京区壬生坊城町48

京都市交通局内

京交山岳部